様式８　１．肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

１　総括表

事業・内容	事業費	負担区分		備考
		機構 補助金	事業 実施主体	
１　肉用牛生産基盤強化対策事業 ２　地域の特色ある肉用牛振興対策事業	千円	千円	千円	

（注）事業推進に要する経費についても出来るだけ詳細に記載すること。

２　事業の目的

３　事業の内容

（１）肉用牛生産基盤強化対策事業

ア　中核的担い手育成増頭推進（計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した者に対する奨励金の交付）

時期	対象者数	対象頭数	単価	備考
			８万円/頭 10万円/頭	

イ　遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保（多様な系統群の確保による改良に必要な繁殖雌牛を貸し付ける場合の奨励金の交付）

時期	対象者数	対象頭数	単価	備考
			６万円/頭 ９万円/頭	

ウ　優良繁殖雌牛導入支援（改良に必要な繁殖雌牛を貸し付ける場合の奨励金の

交付）

時期	対象者数	対象頭数	単価	備考
			４万円/頭 ５万円/頭	

エ　繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備

時期	整備項目	設置場所	内容	備考

注：生産者集団等が自ら整備する場合及びリース事業者から借り受ける場合。

オ　肉用牛ヘルパー推進（肉用牛ヘルパー利用組合が実施する事業に要する補助）

（ア）利用組合の概要

ヘルパー利用組合名	地域の範囲	参加農家数	備考

注：ヘルパー利用組合名が未定の場合は、組合数を記入のこと。

（イ）肉用牛ヘルパー推進の内容

区分	内容	一組合当たりの 必要経費の考え方	備考
肉用牛ヘルパーの組織化 （協議会の開催、計画策定）			
肉用牛ヘルパーの適正運営 （機具の整備等）			
肉用牛ヘルパー要員の確保（募集活動、傷害保険等の加入促進）			
肉用牛ヘルパーの出役調整			
肉用牛ヘルパーに係る研修会等の開催			
肉用牛ヘルパーに必要な 機具の借上げ			
傷病時等の肉用牛ヘルパー 利用の促進			
高齢者等の肉用牛ヘルパー 利用の促進			
放牧管理時の肉用牛ヘルパー			

利用の促進			

カ　特定地域肉用牛広域処理円滑化支援

離島等名	海上輸送先	対象農家数	対象死亡 牛頭数	内容	備考

注１：海上輸送先は、死亡牛の予定処理施設（化製場等）の所在する場所を記入すること。
　２：対象となる死亡牛は、ＢＳＥ検査対象牛（48か月齢以上）は除く。
　３：当該離島等における死亡牛の処理状況を備考欄に記入すること。

キ　肉用牛振興推進指導（会議開催、先進事例・利用実態調査及び推進指導の実施）

集団名	項目	方法	内容	備考

（２）地域の特色ある肉用牛振興対策事業

ア　地方特定品種等の振興

（ア）生産者集団の概要

生産者集団名	品種名	地域の範囲	参加農家数	備考

注：生産者集団名が未定の場合は、集団数を記入すること。

（イ）地方特定品種等の振興の内容

区分	内容	一集団当たりの 必要経費の考え方	備考
地域の生産、販売及び飼養頭数の維持・増頭計画の策定、周知			
特徴ある牛肉生産の取組			
計画出荷対策			
飼養頭数の維持・増頭に関する取組支援			

イ　離島等及び山振地域における肉用牛振興

（ア）離島等において生産された子牛の購入者（当該離島等に在住しない肉用牛生産者が家畜市場において購入する場合に限る）に対する奨励金の交付

時期	対象購入者数	対象頭数	内容	備考

（イ）集出荷計画の作成、家畜取引情報の収集及び提供

時期	項目	方法	内容	備考

（ウ）離島等生産者が離島等子牛を島外の家畜市場に出荷する場合における当該出荷者に対する奨励金の交付

時期	対象農家数	対象頭数	内容	備考

（エ）山振地域子牛流通活性化（奨励金の交付）

時期	対象購入者数	対象頭数	内容	備考

（オ）優良子牛適正出荷推進（奨励金の交付）

時期	生産者数	対象頭数	内容	備考

（カ）優良子牛適正出荷推進（器具機材等の導入）

時期	整備項目	設置場所	内容	備考

（キ）離島等及び山振地域の子牛流通の活性化の推進

ａ　会議の開催

時期	場所	回数	参集範囲	内容

b　事業の推進指導

項目	方法	内容	備考

ウ　地域の特色のある肉用牛生産推進指導

（ア）会議の開催

時期	場所	回数	参集範囲	内容

（イ）事業の推進指導

項目	方法	内容	備考

（注）各項目については、出来るだけ具体的に記載すること。